

# 育友会支部懇談会

## 新潟支部

新潟支部(石倉仁一支部長)懇談会は8月26日、新潟市内で開催され、97人が参加した。支部役員はそこの専修大学のTシャツで出迎えた。藤森研文学部教授が「学生にとって最も身近な大人であるご父母・保護者と、教職員が信頼関係を持つことが大事」と語りかけた。

榎透法学部教授は学業について説明し、単位修得の注意点を述べた。小林守商学部教授は学生生活について、学生相談室の利用を促すとともにSNSのトラブル、インターネットの注意などについて説明した。

また、新潟市の職員らが県内の就職状況について話し、Uターン就職や



97人が参加した新潟支部懇談会

学業や学生生活、就職支援状況などについて、教職員がご父母・保護者に説明し相談にのじる育友会支部懇談会が、7月下旬から8月末にかけて開催された。北海道から沖縄まで全国67支部63会場には多くのご父母・保護者が参加。充実した学生生活を支えるため教職員とひざを交えて語り合った。

## 全国67支部63会場

## 神奈川東・西支部



東平育友会長「支部懇は大学とコミュニケーションがとれる最」

東平豊三育友会長の「支部懇は大学とコミュニケーションがとれる最」

佐々木学長「親の対応などに関し説明。次いで、内定を得て4年生5人によるパネルディスカッションが行われた。」

7月30日に生田キャンパスで開かれた神奈川東・西支部(高橋国広支部長、根岸公一郎西支部長)懇談会には小雨にもかかわらず405人が参加した。

東平豊三育友会長の「支部懇は大学とコミュニケーションがとれる最」

佐々木学長「親の対応などに関し説明。次いで、内定を得て4年生5人によるパネルディスカッションが行われた。」

## 内定者の体験を聞く

親の対応などに関し説明。次いで、内定を得て4年生5人によるパネルディスカッションが行われた。

エントリーストについて松田果穂さん(文4)は「友達に自分の長所、短所を聞き自己分析を進めた。この過程で精神的に落ち込むこともあった」と話す。また、鈴木達大さん(文4)は「相手の心に残るエピソードをどれだけ書けるかがポイント。1、2年生の時にいろいろな体験をしたほうがいい」とア

## Uターン個別相談も

熱心に聞いていた法学部3年次男子の父親は「心構えから具体的なテクニック、企業情報の探し方まで詳しく聞くことができた。大変参考になった。簡易書きにして息子に伝えたい」と満足した。

公務員採用試験について個別相談にも応じた。午後からはグループ面談と個人面談が行われた。会場の外でも齊藤公男就職部長が就職相談に応じ、ご父母・保護者の質問に丁寧に答えた。

表情。夫婦で個別面談に参加した経済学部2年次男子の両親は「修学状況通知書を見ながら教授に直接アドバイスしていただき現状や課題がよく分かった。いろいろな角度の話が聞けて、大学への興味が増した。今度、キャンパスをじっくり見に行きたい」と語った。



3号館「蒼翼の間」からの景色を楽しむ育友会員

存在については、「何気ない言葉がけで助けられた」という声が相次いだ。

このほか、個別面談とグループ面談が行われ、修学状況通知書の見方、

就職、資格取得、留学などという文学部3年次男子の母親と商学部4年次男子の母親は「お互い同じような状況の息子がいて親しくなれた。就職の際の親のスタンスもよく分かった」と話していた。

経済学部1年次女子の

「娘が通っている生田キャンパスが見たかった。パネルディスカッションで話をしてくれた大学生がみんなしっかりしているのに驚いた」と感想を話した。

まだ内定を得ていなくても焦る必要はありません。先日行われた学内企業説明会inサテライトでは、2日間で100人近い学生と、企業46社が来場しました。

同様の説明会を10月にも実施します。これまでも視野に入れていなかった業界や企業、職種を新たに発見するチャンスですので、ぜひ参加してください。

詳細は決定次第、ポスターをご覧ください。

## 就職課から

10月にも説明会(4年次生へ)

後期から就職支援プログラムが始まります。まずは今月下旬の第1回就職ガイダンスに出席してください。

ここでは就職活動の流れや、今後のプログラムについて説明します。就きたい業種や職種がまだ決まっていない学生も、各種支援プログラムに出席することで視野が広がり、将来の方向性が見えてきます。

さらに履歴書の書き方や面接練習などのプログラムも行いますので、できるだけ多く出席してください。

タル、Sinetでお知らせします。

ガイダンス参加を(3年次生へ)

後期から就職支援プログラムが始まります。まずは今月下旬の第1回就職ガイダンスに出席してください。

## 栃木県知事 福田 富一

### 「ものづくり県」で力を発揮しよう

栃木県は、美しい自然、全国有数の「ものづくり」を定を締結し、各大学で実として、最大で150万人、世界遺産「日光の社」に代表される歴史と文化、プレミアムいちごなどの大規模な自然災害文化、スカイベリなど、リスクの少なさ、一人当りの県民所得と一戸当りの敷地面積が全国4位であることなど、「生産業面においてもさまざまな業種がバランスよく活の豊かさ・快適さ」やしています。

また、東京都有楽町に

## UI知事 ターンメッセージ



業では、自動車・航空宇宙・医療などの分野における大企業の工場や研究所、世界有数のシェアを誇る中小企業などが集積している。県内産業の活力となる若手人材の確保を図るため、UIJターン就職を積極的に推進して

開設した「とちぎUIJターゲット就職サポートセンター」で、就職相談に

県では、県内産業の活力

内企業への就職をサポートするスマートフォン向けアプリ「とちぎ就職サポート」も開設して

業へ就職する学生を対象

【とちぎジョブモールHP WORKWORKとちぎ】<http://www.tochigi-work2.net/>  
 【とちぎUIJターン就職サポートセンター】<http://we-tochigi.sakura.ne.jp/satellite>

## 公開講座情報

社会科学研究所公開講座「中国の「一带一路」構想と南アジアへの影響」

▽日時 10月21日(土) 13時16分▽場所 神田キャンパス542教室▽基調講演 ティアス・ラジャ・カニヤ氏(ネパール・トリバン大学学長)

▽報告 川徐一 齋経済学部准教授、ビシユワ・ラズ カンデル 嘉悦大学経営経済学部准教授

※報告・質疑は日本語・英語及び日英通訳付き。

※参加無料。

※メール (shakem@isc.senshu-u.ac.jp) かファクス(044・900・7829)で事前申し込み必要。

社会科学研究所 044・911・1089